

滝川市と栃木市は 友好親善都市盟約 40周年を迎えました

菜の花畑

国内有数の作付面積。見頃に合わせ開催される市内最大のイベント「たきかわ菜の花まつり」は、国内外から多くの観光客が訪れます。



たきかわスカイパーク

滝川市は上昇気流が発生しやすく、航空管制の制約も少ないため、スカイスportsが盛んです。「たきかわスカイパーク」は全国トップクラスの設備を備え、日本中からグライダー愛好者が集まります。一般の方も気軽にグライダーの体験搭乗ができる施設となっています。

滝川市の観光地紹介

滝川市長からのメッセージ



まえだ こうきち 滝川市長

栃木市と滝川市の交流は、國學院女子短期大学の誘致運動をきっかけに始まり、その後、短期大学の開学に併せ、昭和57年に友好親善都市の盟約を締結してから40周年を迎えましたこと、滝川市を代表して心より感謝するとともに、お慶び申し上げます。

盟約締結10周年を契機に始まった職員交流は、行政運営のみならず、地域との関わりなど多くの経験をさせていただきました。これは職員のさらなる学びと住民サービスの向上につながっているものと考えています。また、これまで各種イベントでは行政に限らず市民レベルでの交流も行われるなど、両市の友好関係を着実に積み上げてきました。

昨年7月、滝川市において開催しました友好親善都市盟約40周年記念式典を機に、両市の職員交流を新たな形で再開することといたしました。今後におきましても、栃木市との交流を進め、友好を深めてまいりたいと考えております。

えべおつ 江部乙りんご

寒暖差の激しい環境で甘く育つりんご。滝川市では「江部乙りんご」と呼ばれ親しまれています。



あいがも

滝川市の特産品であるあいがもは、肉質が柔らかくジューシーで、特有のクセがなく食べやすいのが特徴。道の駅たきかわでは「アイガモカレー」や「アイガモ炊き込みご飯の素」が人気商品です。



ジンギスカン

タレに漬け込んだ肉を焼いて食べる味付ジンギスカン発祥の地。市内には多くのジンギスカン専門店が軒を連ねています。

滝川市の特産品紹介

栃木市滝川市友好親善都市盟約 40周年記念式典 (令和4年7月28日)

滝川市において、これからの人事交流や経済交流の促進のため栃木市・滝川市交流推進の確認書を交わしました。



「滝川市・栃木市交流推進の確認書」締結 (平成30年11月12日) 前田市長、水口議長 (当時) が来栃。

交流の歴史



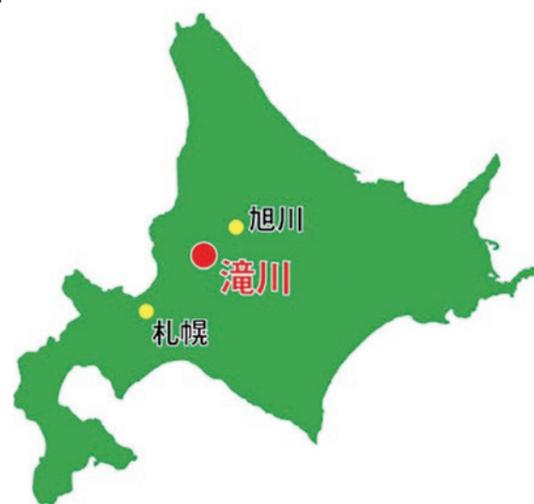
とちぎ秋祭り、栃木市の産業と物産展 (令和4年11月12日)

前田市長と関藤議長が訪栃。前田市長自ら来場者へクラフトビールを振舞われるなど、特産品のPRをされました。産業と物産展では、友好親善都市ブースに道の駅たきかわおよび滝川市観光国際課のみなさまにお越しいただき、滝川市の物産販売や観光地の紹介をしていただきました。

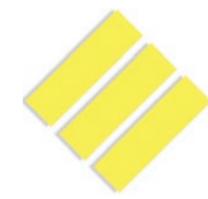


「友好」記念碑 栃木市総合運動公園に設置された記念碑。南側駐車場から入り、管理棟東側に設置されています。

滝川市ってどんなところ？



滝川市は北海道のほぼ中央、札幌市と旭川市の間に位置する人口約4万人、面積は約116平方キロメートルの都市です。



滝川市市章

石狩川と空知川の合流点に発達した滝川市の市章は、川の文字を図案化し、農・工・商の三者が一体となって発展する滝川の繁栄の姿を表しています。

交流の経緯



川市議会関係者などが調査に栃木市を訪れたことから始まりました。以降、両市関係者が様々な行事を通じて交流を深めていく中で、友好親善都市盟約締結への機運が高

まり、同短大が昭和57年に開学するのときを同じくして、滝川市と栃木市の間で友好親善都市の盟約を締結しました。その後、栃木市民が滝川しづき祭り、たきかわ夏祭り、たきかわ菜の花まつりに参加し、滝川市民がとちぎ太山・蔵の街マラソン大会、栃木市の産業と物産展に参加するなど、市民レベルでの交流が進み、友好を深めてきました。また、令和元年度東日本台風の際には、被災後、いち早く滝川市職員5名の派遣を始め、復興に向けた業務へご協力をいただきました。今後も経済や市民交流を通じ、滝川市・栃木市の未来に向け、両市の絆が更に深まり、いつまでもこの関係が続くよう尽力していきます。